Publication No.: JP52-156416

Publication Date: November 28, 1977

Date of Filing: May 24, 1976

Applicant: Matsushita Electric Works, Ltd.

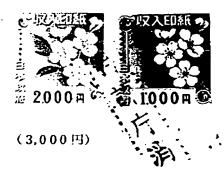
Inventor: Shinsuke Okamoto et al.

Title: IMPEDANCE UPPER CIRCUITE METHOD

Abstract

An impedance upper circuit method inserting a device or a coil having a core in a power line carrier communication method in which a power line of an indoor light line or the like is used for a transmission line, wherein the device is in series with a line and in parallel with resistance of inductance, and the coil has internal loss equivalent to the device.

公開実用 昭和52—156416





実用新案登録願 ((A))

昭和 51年 5 月24日

特許庁長官 殿

1 考案の名称

*/ tv*to*/* インピーダンスアツバー凹破方式

考 案 者 2 大阪府門真市大学門真1048番地 住: 所 松节電工株式会社内 本本 IXY 氏 名 外1名 実用新案登録出願人 住 所 大阪府門真市大字門真1048番地 名 称 (583) 松 下電工株式会社 丹 91 表 者 羽 Π: 91 理 人 郵便番号 160 Œ 所 東京都新宿区西新宿7丁目5番10号 第2ミゾタビルディング7階 電話03 — 365 — 1982番 (6108) 弁理士 高 山 敏 夫 氏 名 添附書類の目録 Lagran Server (1) 明細 通 書 1 (2) 図 面 1 通 (3) 委任 状 1 通 (4) 願書副本 通 51. 5.24 1

51 065280

万六 (納)

- 1. 考案の名称
 - インピーダンスアッパー回幕方式
- 2. 実用新寒登録請求の範囲
 - (1) 屋内電灯線等の電力線を伝送線として用いる電力線搬送通信方式に於いて、線路と直列にイン ダクタンスと抵抗を並列にした素子又はこれと 等価な内部損失を有する磁心入りコイルを挿入 したインピーダンスアッパー回線方式。
 - (2) コンセント内に蘇路と直列にインダクタンスと 抵抗との並列素子を挿入した実用新案登録請求 の範囲第1項のインピーダンスアッパー回線方 式。
 - (3) アダプター(14) の前面に受刃(16) 、16) を設け、背面 に栓刃(14) 、16) を突出して設け、数受刃と栓刃と の少くとも1組に抵抗RとインダクタンスLと の並列回路を挿入した実用新案登録請求の範囲 第1項のインビーダンスアッパー回線方式。
- 3. 考案の詳細な説明

本案はインピーダンスアッパー回線方式 詳しく (1)

公開実用 昭和52-156416

は家電器具に使用されている雑音防止用コンデンサーにより回標間が短絡状態になり、伝送不能となることを防止したインピーダンスアッパー回線方式に関する。

電灯線を伝送線路として用いる電力線搬送通信 に於いて、電灯線には各種家電負荷機器が接続されるが、一般に維音を発生する器具には必らずコンデンサーが離間に挿入されている。このコンデンサーは搬送周波帯では低インピーダンスとなり、信号を短絡する為通信が不能となる場合があつた。

第1図に於いて、一般家電器具(1)内には器具よりの雑音が電灯線に出るのを防止する為に、額間にコンデンサー C が挿入されており、 このコンデンサーは搬送周波帯で低インピーダンスとなる特性を持つている。

第2図は伝送線(電灯線)(2) にコンデンサーが入つた状態を示す図であつて、コンデンサー C の無い場合は、発信機 T よりの信号は受信機 R に被養なく伝わるが、途中にコンデンサー C が接続された場合には、信号はコンデンサー C によつて短

(2)

薪されて、受信機R。に達する信号レベルは極度に低下する。との様なコンデンサーCを含む家電器具はかなり多く存在する為に、腫内の各所で同様の現象が発生する為信号の減衰はより多くなる。

本案は上記の様な負荷機器による信号減衰を低下させる事を目標にして考案されたインピーダンスアップコンセントであつて、その設置場所及び回路構成は第3図A~Cに示すごとくである。

第3図Aは魅コンセント即内にコンセントのを 設け、該コンセント中の一方の受刃&と回縁をの 間に抵抗Rとインダクタンス L 回縁に接続されて いる。第3図Bはこの場合の結構を示す。第 3図Cは、失々の回線にインダクタンスに抵抗R 第3回線にインダクタンスに抵抗R 類別し、失々のインダクタンスに抵抗Rを 接続してなるもので、この場合、各インダクタンスに ストを磁心的で磁気的に結合した場合を示す。

第4図はアダプター(14内に設けた場合を示するので、アダプター(14の前面に受刃(16)、16を設け、背面に栓刃(16)、16を失出して設け、受刃(16)を栓刃

公開実用 昭和52—156416

(M) とを接続し、受刃(M) と栓刃(M) との間に抵抗 R とインダクタンス L との並列回路を挿入したものである。

叙上のように本案によれば、線路と直列にインダクタンスと抵抗の並列素子を挿入するととによ
 (4)

り、いかなる状態に於いても線路は低インピーダ ンスで短絡される事は無くなり信号の伝送が可能 となる効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

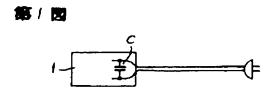
第1図は家電器具内でコンデンサの接続されている状態を示す図、第2図は伝送状態の説明図、第3図A~Cは本案のインピーダンスアッパー回線方式、第4図はアダプター構造にした場合、第5図は説明図を示す。

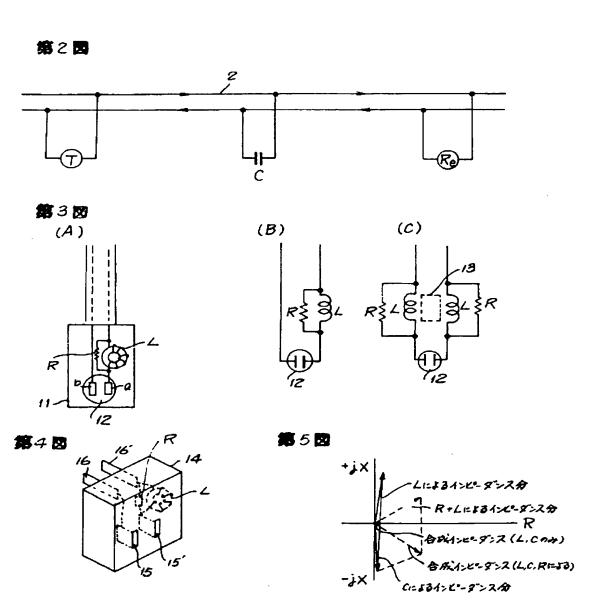
11…壁コンセント、12…コンセント、13…磁心、 14…アダプター、15,15…受刃、16,16…栓刃、 R…抵抗、L…インダクタンス

突用新案登録出顧人

松下電工株式会社代理人弁理士高山散夫

公開実用 昭和52—156416





7504:6

実用新案登録出**數**人, 松 下 電 工 株 式 会 社 代理人 弁理土 髙山 被 夫

6. 前配以外の考案者

住 所

カドマ シオオアダカドマ 大阪府門真市大字門真1048 香地

70 27 27 27 4 X 会社内

氏 名

174

This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

K	BLACK BORDERS
Ą	IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
X	FADED TEXT OR DRAWING
	BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
	SKEWED/SLANTED IMAGES
×	COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
	GRAY SCALE DOCUMENTS
	LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
	REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
0	OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.
As rescanning documents will not correct images problems checked, please do not report the problems to the IFW Image Problem Mailbox